

第19回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

| | | | | | |
|------|---|-----|----|----|---------------|
| 開催日時 | 令和2年12月17日(木) 13:30~14:25 | | | | |
| 開催場所 | 第1委員会室 | | | | |
| 出席者 | ○会長 山本貴広(県都創生山口) ○副会長 湊和久(自由民主党山口) ○委員 馬越帝介、藏成幹也(自由民主党山口)、瀧川勉、山下宏(県都創生山口)、村上満典(公明党)、植野伸一(ふるさと共創やまぐち)、氏永東光(高志会)、尾上頼子(日本共産党)、山見敏雄(市民クラブ) ○委員外議員 竹中一郎(山口維新の会) | | | | |
| 記録者 | 書記 金田 | 欠席者 | なし | 傍聴 | (一般)1人 (報道)0人 |

以下のとおり概要を報告します。

1 第18回協議会報告書について

- ・副会長から協議内容を説明。出席委員で確認し、修正なし。

2 協議事項

(1) 議員定数について

- ・11月8日に開催した議会改革フォーラムで実施したアンケートと、11月10日から12月10日まで実施したフォーラム録画の配信時に実施したアンケートの集計結果(案)の報告と、今後のスケジュールの確認を行った。
 - 各会派で、アンケートの集計結果を参考にして、3月13日に提出した「議員定数にかかる中間答申」に、どのように反映させ、最終答申をまとめていくのかを協議し、その内容について、次回確認。
 - 遅くとも2月上旬には最終答申案をまとめることを確認。

(2) 政務活動費について

- ・広報費(広報紙)にかかる部分の手引きの見直しの基本的な考え方(見直しのレベル)等について、各会派からの意見に基づき協議を行った。
- ・「政務活動費を使いやすくするという点に関しては賛成だが、長い目で見て、政務活動に特化した広報紙を作るのであれば、按分しなくてもいいような形を模索してほしい」、「裁判事例を見て勝てるであろうと思われる手引きを作ったとしても、裁判に負ける可能性もあるので、手引きへの記載は、各会派・各議員の責任ということを前提に、絶対に守らないといけないルールを決めるだけの形が良いのでは」、「一定の基準が定められていると使いやすい」、「『按分という考え方で政務活動費を充てることができる』というふわっとした形で手引きに書き込み、按分率等は議員、会派、個々において、しっかりと判断をするという形が着地点ではないか」、「あまり縛りをかけずに、基本的には議員の責任だという考え方」等の意見が出された。

→ 広報費（広報紙）にかかる手引きについては、「按分の考えを取り入れるが、按分率等を含めた判断については、各会派、各議員の責任において行う」という考え方を前提として見直していくことを確認。次回会議において、事務局から見直し案を提示。

（3）倫理条例について

・「諮問事項 14・15 倫理条例の制定」に関する協議方針と、今後見直しを行っていく「山口市議会基本条例第 19 条」の確認を行った。

→ 継続協議

3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

・次回の協議内容は、「議員定数」、「政務活動費」、「倫理条例」の予定

※次回は、令和3年1月15日（金）10時から開催